

2017年度 日本文化人類学会  
第1回理事会 議事録

日時：2017年4月15日（土）14：00－18：30

会場：東京大学 東洋文化研究所 第一会議室

<出席者>松田、綾部、伊藤、宇田川、岡田、小田、川田、桑山、湖中、佐々木、高倉、田中、  
棚橋、中谷、名和、真島、三尾、箭内

<委任状提出>慶田、栗本、白川、速水、森山

**〔承認事項〕**

1. 2016年度第6回理事会議事録
2. 新入会員（8名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

**〔報告事項〕**

1. 庶務理事報告
  - ・第14回（平成29年度）日本学術振興会賞の学会推薦を行ったことを報告。  
コスモス国際賞の推薦依頼が届いたが、学会推薦のための公募・選考等の対応を適正に行う時間的余裕がないため、前例に倣い、今年度の推薦は見送り、次年度の応募に向けて準備することとした。
2. 会計理事報告
  - ・平成29年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」および「国際情報発信強化（B）」の交付内定通知が届いたことを報告。澁澤民族学振興基金から内定を得ていた平成29年度民族学振興プロジェクト助成については辞退することを報告。
3. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき9件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。このうち1件はメーリングリスト運用規定外のため総務会で検討の上配信を行ったことを報告、事後承認された。
  - ・J-STAGEへの学会誌掲載状況について報告。また、CiNiiからJ-STAGEへのデータ移行に関連し、J-STAGE側より各前身誌についてもヒアリングシートの提出を求められており、至急対応を行うことを報告。
4. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：81巻4号に編集委員会からのお知らせを掲載し、書評システム及び献本情報の案内、特集投稿の案内、投稿フォーム変更の案内を行ったことを報告。82巻2号から学会誌へ広告ページを導入予定であり、広告代理店への依頼等の準備を進めていることを報告（この広告ページはJ-STAGEには掲載しないことを確認）。学会誌編集主任へAAAのannual meetingへの出席及び議題の打診があったことが報告され、これまでは出席を予定している理事等に対応を依頼していたことを確認。今回の件に関しては和・英文誌の両編集主任が対応を検討することとした。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.17-2、Vol.18の進捗状況を報告。
  - ・国際化グローバル化対応委員会：国際社会科学協議会WSSF（世界社会科学フォーラム）より後援依頼があり、正式な依頼書が届き次第検討することを報告。また、WCAAの多言語ブログについて、2017年5月から半年間の日本語の期間は浜田明範会員（関西大）がエディターを担当することを報告。
  - ・課題研究懇談会担当委員会：各課題研究懇談会より2016年度活動報告書が提出されたことを報告。委員会で確認の上、次回理事会で報告することとした。
  - ・研究発表査読委員会：第51回研究大会準備委員会より進捗状況について報告。研究大会査読規定の字数規定に問題があるため、規定改定を準備予定であることを報告。また、第52回研究大会への引き継ぎ内容に関し、どのような情報を必要とするのか、第51回研究大会準備委員会へ早めに連絡するよう要請があった。
  - ・地区研究懇談会：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。
  - ・文化人類学教育委員会：松田会長より、高等学校の科目が「公共」に変更されることに関連し、日本学術會議の文化人類学関連協議会のメンバーが文部科学省の担当者と会えることになったこと、本件については委員会と相談しつつ対応していくことを報告。

## 【審議事項】

1. 第8回育志賞の推薦依頼について
  - ・川田理事より、「第8回(平成29年度)日本学術振興会育志賞」候補者の学会推薦依頼があったことが報告された。審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFOを通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。
2. 名誉会員の推薦について
  - ・理事会メーリングリストにて推薦を募った「日本文化人類学会名誉会員に関する内規」第二条第2項に基づく名誉会員の推薦を一件受け付けたことが報告された。提出された推薦資料に基づき慎重に審議を行った結果、評議員会、総会へ諮ることが承認された。今後の手順として、推薦者と庶務理事、総務理事とで評議員会、総会へ提出する推薦書を作成することが確認された。
3. 2016年度事業報告・2017年度事業計画(案)について
  - ・川田理事より、資料に基づき2016年度事業報告書・2017年度事業計画書(案)について説明があり、次回理事会までに変更等があれば庶務理事に連絡することとした。
4. 2016年度決算案・2017年度予算(案)について
  - ・綾部理事より、資料に基づき2016年度決算・2017年度予算(案)について説明があり、次回理事会までに変更等があれば会計理事に連絡することとした。
  - ・和文誌の英文校閲費及び英文要旨査読の現状について意見交換がなされ、校閲の内容や長さ等も含め検討が必要な課題があるとの認識を共有した。
5. 学会賞・奨励賞授賞理由書について
  - ・棚橋理事より授賞理由について説明がなされ、審議の結果、承認された。
6. WCAAの対応について
  - ・松田会長より、WCAAから様々な情報や至急の判断を要する依頼がメールで頻りに寄せられていることが報告され、対応について検討を行った結果、今後は松田会長と今期WCAA Delegateの窪田幸子会員がこれらのWCAAから寄せられる依頼等について検討し、対応することが承認された。ただし、政治的立場の強いものには賛同しないこととした。
7. 国際情報発信強化の事業について
  - ・提出済みの平成28年度科学研究費補助金計画調書に記載されている内容について理事会内で共有した。委員会内で引き続き検討を行い、平成29年度の交付申請書提出に向けて準備を進めることを確認した。
8. 52回大会バックアップ体制について
  - ・宇田川理事より、委員会で調査、検討を行った結果について資料に基づき報告がなされた。理事会での検討結果は下記の通り。
    - ①ホームページ作成、登録業務については内容を精査しつつ外注する方向で進めることを確認した。ただし、登録業務全部を外注することは困難であり、またHPの情報更新や費用面については検討する必要があることを確認した。
    - ②プログラム作成については研究大会査読委員と開催校の担当者が連携して行うことが承認された。
    - ③座長については、それぞれのセッション内で依頼することが現実的であるとされた。
    - ④要旨集については、今回は印刷を行わない方向で進めることが承認された。必要に応じて、会場でプログラムや案内等の印刷物配布を行うことを確認した。
  - ・今回は次回大会に関する検討を行ったが、研究大会の開催方式の見直しや問題点については引き続き議論を行っていくこととした。
  - ・第52回研究大会に向け、会長が委員長になり研究大会実施委員会(仮)を立ち上げる方向で進めることが審議の結果承認され、メンバーは必要な人員、人数を今後補充していくこととした。
9. 理事会各種委員会の構成について
  - ・次世代育成セミナー実施運営委員3名の交代について報告があり、承認された。研究大会実施委員会(仮)、JRCA編集委員の追加については次回理事会で審議予定とした。
10. 『文化人類学』新査読規程について
  - ・真島理事より、『文化人類学』査読規程について最終案が提出され、承認された。新査読規程の適用は7月1日からとし、学会HP上で新規定の施行について周知すること、それまでに新投稿フォームの準備

備や査読表等の改定、新たな査読要旨作成等の準備も行うことを確認した。

11. 法人化定款案について

- ・三尾理事より、定款案について前回からの変更点を中心に説明がなされた。また、細かい内容部分についても意見交換がなされ、次回理事会に向け文言調整、確認を行っていくこととした。

12. 被災会員に対する会費減免措置について

- ・川田理事より、「東日本大震災の被災会員に対する 2011 年度会費徴収特例措置」及び「熊本地震の被災会員に対する 2016 年度会費徴収特例措置」について説明の上、2017 年度の特例措置延長について提案があり、承認された。

13. その他

- ・伊藤理事より、2017 年 3 月末日に公開された「医学教育モデル・コア・カリキュラム」改訂版に、日本の医学教育史上初めて文化人類学（特に医療人類学）（および社会学（特に医療社会学））の項目が入ることになったこと、それに伴い、全国の大学医学部で医療者向けの文化人類学教育を依頼される可能性があることについて説明がなされた。意見交換の結果、今後、学会としての対応や協力が求められるため、対応委員会（またはワーキング・グループ等）の立ち上げを含め、伊藤理事が中心になり検討、提案を行っていくこととした。

以上